

高校美術部員制作による「防災壁面画」の設置

八幡浜地区施設事務組合消防本部

当消防署第二分署では、庁舎西側壁面に2～3年毎に防災壁面画を職員が制作、設置していました。庁舎の西側には国道197号があり、通行者や車両等も多く通行し、



美術部員に感謝状の贈呈



美術部員と記念撮影

防災に対する啓発効果が期待できる場所であり、今回、より多くの方に興味を持って見ていただくため、若い世代の感覚、視点でイメージした方がより効果的であると考え、地元川之石高校美術部に依頼し、美術部員が制作にあたり、構想から約2か月で完成し、5月1日に設置しました。

危険物漏えい合同訓練を実施しました！

三原市消防本部

6月10日、世羅生コン販売株式会社において、自主保安体制の確立を目的として屋外タンク貯蔵所からの危険物流出訓練を実施しました。訓練終了後に当事業所が保有する地下貯蔵タンクの漏えい検査管の点検要領を指導するとともに、実際に消防職員が漏えい検査管の点検を実施している映像を取めたオリジナルDVDを配布し、さらなる保安の確保の向上をお願いしました。



消防通信 望楼 ぼうろう

災害対策用自家用給油取扱所の運用を開始

船橋市消防局

船橋市消防局（伊藤陽基消防局長）では、大規模災害発生時にガソリンや軽油の供給が途絶えても、災害時の消防・救急活動を継続して維持できるよう、消防車両・救急車両などへの燃料の供給を確保するため、災害対策用自家用給油取扱所を船橋市北消防署小室出張所敷地内に整備しました。

5月29日に開所式を執り行い、同日より運用を開始しました。

なお、災害時は消防車両等だけでなく、市公用車の利用も可能となります。

今後も、さらなる消防体制の充実・強化に努め、市民の安全安心を確保していきます。

記

- タンク構造 強化プラスチック製二重殻タンク
- 付帯設備等 発電機、高精度油面計、漏洩検知装置、給油管理システム
- 給油空地 112㎡
- 備蓄量 ガソリン20kl・軽油10kl



「消防見学会」を開催

郡山地方広域消防組合

郡山地方広域消防組合では、6月8日（日）、郡山消防署において、住民に親しまれ、より信頼される消防となるため、地域住民約150人を招き、「消防見学会」を開催しました。

昨年の全国消防救助技術大会において、第1位を獲得した「ほふく救出」などの救助訓練をはじめ、放水訓練やはしご車による高所からの救出救助訓練を披露するほか、職員の体力の源「特製消防カレー」の試食会を行い、訪れた方々に「消防」を見て、聞いて、感じていただきました。



消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。

ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】